

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】令和6年2月8日(2024.2.8)

【国際公開番号】WO2022/270102

【出願番号】特願2023-529604(P2023-529604)

【国際特許分類】

H 0 2 K 9/22(2006.01)

H 0 2 K 9/19(2006.01)

H 0 2 K 7/116(2006.01)

F 1 6 H 57/00(2012.01)

F 1 6 H 57/04(2010.01)

10

【F I】

H 0 2 K 9/22 A

H 0 2 K 9/19 A

H 0 2 K 7/116

F 1 6 H 57/00

F 1 6 H 57/04 G

【手続補正書】

20

【提出日】令和5年7月6日(2023.7.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ヒートパイプと、
モータを収容するハウジングを有し、
前記ハウジングは液体が流れる流路を有し、
前記ハウジングは、前記流路の一部を構成し且つ前記モータのステータを外周から支持する支持壁部を有し、
前記ヒートパイプは、前記支持壁部の外周において、前記流路内の液体に接触する部分を有し、
前記ヒートパイプは前記モータの前記ステータのコイルエンドと対向する部分を有する、ユニット。

30

【請求項2】

請求項1において、
前記コイルエンドと前記ヒートパイプとは離間して配置されている、ユニット。

40

【請求項3】

請求項1又は請求項2において、
前記モータと接続する動力伝達機構が前記ハウジングに収容され、
重力方向視において、前記ヒートパイプは前記モータと前記動力伝達機構との間に位置する部分を有する、ユニット。

【請求項4】

請求項1乃至請求項3のいずれか一において、
径方向視において前記流路は前記モータとオーバーラップする部分を有する、ユニット。

【請求項5】

50

請求項 1 乃至請求項 4 のいずれかーにおいて、
前記ヒートパイプにおける前記コイルエンドと対向する対向部分は、前記モータの軸心を通り且つ重力方向に直交する水平面よりも下方に位置し、
前記ヒートパイプにおける前記流路内に位置する部分は、前記対向部分を通り且つ重力方向に直交する水平面よりも上方に位置する、ユニット。

【請求項 6】

請求項 1 乃至請求項 4 のいずれかーにおいて、
前記液体は、冷却水である、ユニット。

【請求項 7】

請求項 1 乃至請求項 4 のいずれかーにおいて、
前記流路はらせん状に形成されている、ユニット。

10

【請求項 8】

請求項 1 乃至請求項 4 のいずれかーにおいて、
前記液体は、冷却水であり、
前記流路はらせん状に形成されている、ユニット。

【請求項 9】

請求項 1 乃至請求項 4 のいずれかーにおいて、
前記流路は、前記モータのステータの外周に形成されている、ユニット。

20

30

40

50